

会 議 録

会議の名称	第5回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成28年11月25日（金曜日） 午後2時00分から午後3時00分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 大会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
議事 （1）アクションプランの追加資料について （2）アクションプラン報告書について （3）事業評価報告書について （4）その他	
審 議 内 容	
（総務課長あいさつ） （欠席者報告） 2名が仕事の都合により欠席。 （委員長あいさつ） （追加資料説明） （25番景観保全の推進追加資料説明） ○委員：ソーラーもこの対象になるのか。 ○総務課係員：ソーラー自体は対象になっていないが、開発する際に木を伐採したり造成したりするので、そちらが対象となってい	

る。

○委員：ソーラー自体は対象になってないが、設置しようとする時には届出手続きがいるようになっているということか。

○総務課係員：面積等の基準が対象になっていればそうだ。

○委員：このことは皆さん知っているのか。

○委員長：周知策は講じたが皆が知っているかというとは別問題か。市としては、広報体制はとったと。

○総務課長：一軒一軒にこれを配布したわけではない。

○総務課係長：庁舎に来ればこのパンフレットはもらえるようにはなっている。

○総務課係員：評価はどうするか。

○委員：昨年度も審議会は開催しているがBだ。特段何か進展があったということはないので今年もBでよいのでは。

○委員長：では景観的問題がないため実施していないということで、B評価でよいか。

（異議なし）

○委員長：追加資料は以上か。それではアクションプランの報告書。

○総務課係長：事前にアクションプランの報告書の案を郵送した。意見提出表も皆様に出していただいた。ありがとうございました。委員の皆様からいただいた意見をまとめて、事務局の見解を記載した資料に沿って説明する。まず、「アクションプランに関して、職員の更なる削減は困難であると提示してしまうのは少し疑問に感じる。職員の人的改善項目に対して最終的な目標・目的が薄れるのではないかとと思われる。」との意見をいただいた。こちらは昨年度の報告書には職員の更なる削減は難しいという文言が入っていたが、このご意見を踏まえ今年度の報告書を作成した。アクションプランの報告書案の3ページ、定員管理の適正化というところだが、昨年

とは書き方を変えた。読み上げる。第1次行政改革大綱を策定以降、職員数については目標どおり削減しており、総務省のモデルよりも少ない職員数である。しかし、民間委託等の活用や事務事業の見直しにより、一層の定員ミニマム化、職員の適正配置に引続き取り組む必要がある。このようなコメントにした。

○委員長：いかがか。

（異議なし）

○総務課係長：それではその下の（1）行政改革推進委員会と行政改革アクションプランの進捗状況の位置付けについて。これは報告書の2ページのところのことを指していると思う。5～6行目の

『また、プランは社会情勢の変化に柔軟に対応するため、毎年度見直しを行う。』は、良く分からない。主語は誰か、ここに記載する意味合い、言いたい狙い、等が不明瞭な気がします。というご意見をいただいた。こちらは皆様の意見を聞き、書き直しをしたいと思います。ここはアクションプランの説明をする中でアクションプランは毎年度各課に進捗状況を照会し、総務課が取りまとめ、ヒアリング等をして作り上げたものをこの委員会で検討する。毎年ローリングしているということを書いている。書きたい狙いは毎年見直しを行っているということだ。

○委員：これは私が書いたのだが、よく分からなかったのが、毎年度見直しを行うというのは行政改革推進委員会が見直しを行うような感じで受取った。そういう意味か。

○総務課係長：いえ、取り組みをしているのは市の行政なので、市の担当課がまず自分のところで評価をしたものを総務課と一緒にヒアリングをしながら作ったものをこの委員会で皆様に審議していただいている。そして毎年ローリングをかけている。ということに記載している。

○委員長：そのローリングの内容の説明が下にある部分か。

○総務課係長：そうだ。

○委員長：二段階に分けて書いてある。下まで一緒に読むと分かる。

○委員：市が毎年見直しをしてアクションプランを審議する。という意味でよいのか。

○総務課係長：見直しも、例えば今年ここで委員の皆様からいただいた意見をももちろん反映してアクションプランの取組みをしていかなければならない。それで第三者の目で皆様の意見をいただき、担当課は担当課で取組みの目標を立て、それに対して実績はどうだと。総務課は、なぜ目標に達していないのかというようなことをヒアリングしながら全体でつくっていくというような格好だ。後期のアクションプラン4年間の目標だが、最初に立てた目標をそのまま行くわけではなく、毎年毎年何らかの状況の変化があるわけなのでそれに対応した目標を変えながら、その目標に対してどういう実績だったかということを毎年やっているということを書いている。

○委員長：行政内部でやって、それを委員会で確認をする。行政でA評価であっても委員会でBにする場合もあるし、その逆もある。そういうことでよいか。そういうことであれば、このままの記載でよいか。

（異議なし）

○総務課係長：次も、今委員長が読んだところ、7～8行目のところのことなのでこれもそのままいく。では次。（2）審議対象の取組み項目①1行目を以下の様に修正提言します。というご意見をいただいております、委員の意見を踏まえて修正している。赤字にしているところを読みたいと思う。今年度、審議の対象とする取組み項目等は昨年度に比べ5項目削減し、次に掲げる53項目とした。というように変えた。何項目減って、合計何項目という記載の仕方に変えたらどうかというご意見だったのでそのように修正した。

○委員長：削減したと言う言葉が出てくるが、削減したというと、恣意的に減らしたと捉えられるので、減少という言葉の方がよいのでは。

○総務課係長：それでは減少にしたいと思う。

（異議なし）

○総務課係長：それでは次の（２）審議対象の取組み項目②５行目の『計５３項目』は削除する。のご意見もそのとおり削った。次の（３）評価基準。①１～２行目を以下のように修正提言します。という意見だが、先ず担当課は年度別計画に対しての進捗状況をＡ～Ｄ、評価なしの５つの評価を行う。次に当委員会は、第三者の視点でその評価の妥当性を審議して、遅延を指摘するとともに各担当課の更なる改革推進に向けて提言を行う。ということを書いていたが、ここは評価の基準を書いているだけのところだ。提言を行うというのは全体的なことなので、報告書の全体でやっている。ここは基準をＡ～Ｄというのはこういうことだということを書いているところなので修正するのはどうかと思い、皆様のご意見をお聞きしたいと思う。

○委員長：これはこのままでいいような気がする。言わんとすることは分かるが。どうか。

（異議なし）

○総務課係長：では続いて３ページの真ん中、定員管理の適正化の３行目だが、一層の定員ミニマム化という文言を入れた。

○委員長：これは入れた方がよい。よいか。

（異議なし）

○総務課係長：では続いて３ページの下。これも委員の意見を踏まえ修正した。行政情報の積極的な提供。市民が必要な情報を確実に受けられるように情報の種類に応じて最も効果的な手段・内容が採られているか、定期的に見直しをするべきである。市民と行政を繋

ぐ大事なコミュニケーションツールなので目標を定めて取り組むべきである。というように修正した。

○委員長：いかがか。

（異議なし）

○総務課係長：次に市税等の収入の確保、定住促進プランの推進という見出しだが、これは事務局で誤って記載していたので削った。次。後段の書き出し部を以下の様に修正提言します。とのご意見をいただいた。これも意見を踏まえ修正したものが4～5ページにかけての赤字のところだ。読み上げる。改革の進捗状況を把握し、審議する上で二つの問題点を指摘したい。一つは、「アクションプランの数値目標」の達成状況が明確でない点である。この数値目標の達成状況を全職員が把握して、未達成の場合は更なる改善が必要となる。

二つ目は、取組項目毎の年度別の進捗はA～Dで把握しているが、項目毎の最終年度に向けての進捗状況が分からない点である。重要な項目や効果が大きい項目については最終目標年度を定め、それまでに全部終わらせるように進捗管理を行わなければならない。という書き方に改めた。

○委員長：これは議論する中で随分出た話なのでよいと思う。わかりやすくなった。いかがか。

（異議なし）

○委員長：以上、修正点の説明をしていただいたがよろしいか。

（異議なし）

○総務課係長：報告書は市長に提出する。

○委員長：では、事業報告書について。

○総務課係長：皆様からいただいた意見と、事務局の見解についてまとめたものをワンペーパーにまとめている。まず、1.（3）評価にあたっての基本姿勢というところで、当委員会では政策決定機関

ではなく、事業の実施に関する最終決定は市長の判断と市議会の予算審議に委ねられることは承知している。しかしながら、今後予想される杵築市の財政状況を鑑みれば、正にゼロベースから事業全般を見直し真に必要な事業に絞って交付することが急務だと考えている。そこで、当委員会はこの考えに立ち、第三者の立場から客観的な視点をもって厳しく事業評価を行い、その結果を市長に報告する。という意見をいただいた。委員の意見を踏まえ修正した。報告書の2ページをご覧ください。赤字のところが修正したところだ。読み上げる。事業の実施については、今後予想される杵築市の財政状況を鑑みれば、正にゼロベースから事業全般の見直しを行い、真に必要な事業に絞ることが急務である。しかしながら、当委員会は政策決定機関ではなく、事業の実施に関する決定は、最終的には市長の判断と市議会での予算審議に委ねられる。そこで、当委員会は、第三者の立場から、客観的な視点をもって厳しく事業について評価を行い、その結果を市長に報告する。というように修正した。

○委員長：よろしいか。

（異議なし）

○総務課係長：次に3ページの下。全体概要のところ、20行以上の長い文章が続くと読み疲れるし分かり難いので、以下の様に項目毎に分けた方が良くと思う。という意見をいただいた。こちらでも委員の意見を反映し、①～⑤まで分けて記載した。それで、⑤について、今後の厳しい市の財政状況を周知徹底し、全ての職員及び議員が危機意識を共有して事業遂行に当たらなければならない。合わせて、事業遂行のあらゆる局面で危機管理が十分に機能し、事業途上であれば縮小・凍結・等が果敢に実行されなければならないと考える。というご意見だったので、加筆修正をした。ただ、議員という言葉は削った。

○委員長：政府と立法で違うからそこまでは言及できない。三権分立。

○委員：勉強になった。

○総務課係長：また、文章がダブリ、似たような内容が後先で続いておりまとめて省略化した方が読み易い。というご意見もいただいたので全体的に修正した。③を読み上げる。事業はやらないよりはやった方がいいのはもちろんであるし、きめ細かいサービスや市民の事業への関心を引くための付加価値をつけることもわかるが、それではこの財政難を乗り切ることにはできない。今後は必要最小限度の事業費で事業運営をしていく覚悟が職員全員に必要である。費用対効果、重点施策か等、総合的に厳しく判断し、メリハリのある事業展開を行わなければならない。人員も財源も限りがあるため、効果的に真に必要な事業に力を注ぎ、思い切って、他の事業の縮小を検討する段階にきている。というように言い回しを改善した。

○委員長：厳しい内容が読み取れるのでよろしいと思う。箇条書きにするのも読みやすい。どうか。皆さん方の意見が反映されているか。

（異議なし）

○総務課係長：追加。1 ページの真ん中。前回の委員会時の委員長からの提案を受けた部分を加筆修正した。そして、事業評価コメントについても意見をいただいた。これは意見を全て反映させた。一覧表をご覧いただきたい。まず、健康マイレージ事業。他事業との統一を検討し、整合性を図ること。参加者全員へ歩数計を贈呈するのであればインセンティブは必要ない。というコメントのインセンティブは必要ないという言葉を修正した。続いて25の杵築市立地適正化計画策定。実効性・実現性のある計画策定に注力してほしい。というコメントに修正した。次は99の子ども医療費助成事業。事業の継続は妥当であるが、拡大は慎重に検討すること。とい

うコメントに修正した。次に106の小学校大規模改造（空調）事業。事業の継続は妥当であるが、徹底してコスト削減に努めることと。というコメントに修正した。次に108の教育立市プラン推進事業。財政状況を考慮し、実効性のある計画を策定し予算削減にも努めること。というコメントに修正した。

○委員長：このことについては、生徒数は減っているが予算はほとんど減っていない。ということは生徒一人あたりの教員数が増えている。基本的に税収が大幅に減って福祉関係が伸びている。その他の部分はさほど伸びていない。伸びていない中で、結局教育関係経費については、伸びていないと言いながら生徒数は減っている。その中でほぼ横ばいになっていて割り戻すと結局一人あたりの教員数は増えている。教育立市プランについても財政状況を考えていかなければならないのでこのコメントにするのがいいのではないか。

○総務課係長：最後に132の情報化推進事業（システム）。費用対効果を確認して効果の高いシステムの運用に努めること。というコメントに修正した。

○委員長：以上、報告書について、皆様方からご意見をいただき修正をしてもらったがよいか。

（異議なし）

○委員長：それではその他について。

○総務課員：新しいアクションプランの進捗管理シートについてご説明する。今、第3次行政改革大綱を作成中だが、その実施計画も29年度からスタートする。それに伴い様式等も新しくする。今お配りしているものが個別表にあたるものだがいかがか。今ならいくらかでも修正できるので皆様のご意見をお伺いしてシートの様式を作りたい。記載する箇所は減らし、シンプルにした。

○委員長：今2ページあるものを1ページにしたのか。

○委員：私はA4が1枚というのはいいと思う。効率的にした方が

よい。2つ気になったところがある。項目の最終完了年度はいつかということを知るようにしてほしい。厳密でなくともよいので。それから、例えば最終完了年度が30年度の場合、今年度は何割くらい終わったかということがおおまかでよいので分かるようにしてほしい。半分くらい終わった等。

○委員長：大きく捉えることが大事だから大体の目安がわかるとよい。

○委員：事業によっては、ルーチン業務でずっと続くものもある。それはよいと思う。お金にかかわるものや、急がなければならないもの等は年度の目標が分かっている方がよい。

○総務課長：今いただいたご意見については、取組の目的に最終的に何がどうなれば達成かということを書く欄があるのでそこに達成年度も記入する欄を作りたい。それと、今どういう状況にあるかということは、進捗状況の中で書くようにしたい。

○委員長：今は進捗評価を書く欄のみなので、進捗度を書く欄を作してほしい。終了年度と、現状の進捗度をパーセント表示で。それは厳密でなくともかまわない。それを加えると、この様式で必要な情報が全部とれるということであればよいと思う。大きく様式が変わっている。30秒、ワンシートが基本だ。

○総務課係長：最後にもう一つ。前回お配りした行政改革大綱だが、この委員会の中で細かく検討はしていくことはないが、行政改革推進委員会の委員なので新しい大綱についても何かご意見があればお聞きしたい。大綱なので細かいことは載せていない。杵築市の全体的な財政のことや収入の確保等の説明になっている。これからは行政改革をしていくということと、その指針を書いている。

○委員長：8ページで、職員数の更なる削減は困難であると書いている。

○総務課係長：職員の定員適正化計画があり、そこから引用してい

る。

○委員長：民間委託等の推進やの前に、が、をつけるとよいのでは。判断されますが、民間委託等の推進と続くとよいのでは。

○総務課係長：ありがとうございます。

○委員長：まだ時間があるなら皆さんにまた見てもらったらどうか。

○総務課係長：2日が第1回目の審議会なのでそれまでならよい。

○委員長：この場でというのは難しいかもしれないから、今週中くらいに意見を出すということでは。報告書についても、昨年度より踏み込んで厳しさを前面に出した内容になってきたので我々の役目も果たせたかと思う。大変皆様にはお世話になった。

○総務課係長：報告書はもちろん市長に提出するがこれから財政課の予算査定が始まるので財政課をはじめ、全職員に周知徹底をしてこれを元に予算編成に臨んでもらおうと思っている。

○総務課長：今回が今年最後の委員会になる。足を運んでいただき、慎重審議していただいた。ありがとうございました。この提言を元に、我々職員も経費節減、そして行革の意味をしっかりと認識して執務に邁進していきたいと思う。ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。